



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第11号 3月 1日発行 文責：相馬(教頭)

締めめの3月

校長 福士 博 司

2月28日、全校朝会でのお話、最初の話題は、日の出、日の入りのことでした。夕方、厳冬期より日が長くなり、朝は明るくなるのが早くなりました。確かに春が近づいてきています。寒さももう少しの辛抱ですと伝え、講話を始めました。

さて、今日から弥生、3月です。桃の節句を間近にし、お雛様を飾っているご家庭もあることでしょう。子どもたちの健やかな成長を祝い、3月3日の雛祭りや5月5日の端午の節句を迎えることかと思えます。子どもたちにしてあげたことが、親にも子どもたちにとっても生涯の思い出となり、子どもたちもまたわが子に同じ思いをしてあげることになるものです。言い換えると、親の考えは子どもの考え方・価値観に影響を与えるものですが、その責任は大きいのです。SNSに関して親が詳しく知らずして子どもにスマホを持たせるがごとく、子どもを育てるにしても親が育てずして子どもがよりよく育つのはなかなか難しいことなのでは、いやいや、親は子育てをしながら親として成長していくものだと言い聞かせていた自分を思い出します。



先月、雪上運動会がありました。1, 2, 3年生が参加し、3年生がリーダーとなり立派に運営し、様々な種目を楽しんでいました。運動会の最後の感想発表で、1年生代表のSさんが、「楽しい雪上運動会をありがとうございました。」の感謝の気持ちを3年生に伝え発表を締めくくりました。先輩を労い、感謝の気持ちを伝えるまでに成長したなど感動したのを未だに覚えています。

次の日の朝、朝の出迎いで児童玄関の外に立っていたら、2年生のYさんが登校してきました。「昨日の雪上運動会はどうだった?」「楽しかったです。」「今日は何か楽しいことがあるかな?」「あります!」何か楽しそうな行事があったか思い浮かばず疑問に思った私はさらに尋ねました。「何が楽しみなの?」すると、Yさんは「委員会活動が楽しみです!」と答えました。今まで経験しなかった委員会をバトンタッチされて初めての活動、新委員会組織会の日だったので。未知の世界、未知の体験にわくわくし、意欲を持って活動しようとする児童は2年生に限ったことではありませんが、これまでゆっくり登校していたRさんに「最近、早い時間に学校に来るね。」と声をかけたら、「委員会があるんです。」と答えました。このやる気は学校を活性化させるだろうと確信しました。幼いと思っていたのですが、幼いながらもしっかりと自己があって、自己の中でしっかりと考え、やるべきことを意識して実践していることに感心しました。自己有用感を得て順調にしっかりと育っています。



どの児童もこの1年間で成長しました。先日の参観日の全体会で、「この1年のお子さんが成長した、変化したと思うことを3つ以上挙げてください。」とお尋ねしました。回答は伺いませんでしたが、全体会に参加されなかった保護者のみなさんも3つ以上見だし、お子さんに伝えてみてください。考えるところが大きいと思います。

日差しが暖かくなってきましたが、朝晩の冷え込みはまだまだ強いです。インフルエンザのピークは過ぎ去ろうとしています、お体を大切にしてください。そして有意義に締めめの3月を終えたいものです。

そして、6年生には、思い出深い卒業式となるよう最後まで尽力してもらいたいです。「終わり良ければ全て良し」、本校の卒業生の場合は「終わりも良ければ全て良し」です。

【PTA活動・ボランティア活動コーナー】

【資源物回収ありがとうございました】

今年度の2学期からご家庭で不要になった紙パックの資源物集団回収を始めましたが、2/24日現在の収益が1,168円になりました。紙パックを重量に換算すると約236kgになりました。来校するついでに持ってきてくださる方や子どもに持たせてくださる方等、多くの皆様の温かな思いが込められた「236kg」です。2/16(木)2月分の回収を終えた翌日にはリサイクル専用ボックスに新たな紙パックが入っていました。感謝の限りです。このような支援者が本校にはたくさんいることを誇りに思います。

【心を耕してくださった読み聞かせ】

2/9(木)本校の読み聞かせボランティアである高橋さん、樋口さん、坪田さん、藤田さんによる今年度最後の読み聞かせが行われました。毎年最後の読み聞かせは卒業学年の教室で行われるのが恒例となっています。進学を間近に控えた6年生のために心温まる作品(「詩集「ありがとう」(サトウハチロー作)他3作品)を朗読し、メッセージを残していただきました。これまで8年の間、本校の子どもたちは読み聞かせという形式で多くの作品に出会うことにより、夢膨らませ豊かな心情を培ってきました。

【教育活動の様子から】

【最高のスキー教室になりました】

朝から厳しい冷え込みが心配された2/2(木)、3~6年生がスキー教室に参加しました。目的地モヤヒルズは、下界の心配をよそに絶好のコンディションで私たちが乗ったバスを迎えてくれました。

葛西葛町町会長や鎌田学校支援員方のご指導により、参加児童全員がリフトを体験し、けがなく無事に閉校式を終えることができました。

スキー学習で賑わった校庭も2/28にはスロープが崩され、春を待つ景色へと変わりました。



【なわとび検定の結果】

2/17(金)今年度最後のなわとび検定が行われました。その結果、21名が昇段によりメダルまたは楯を獲得しました。子どもたちの体力づくりから始めたなわとびですが、すっかり日常生活の一部になっています。次年度もたくましい体づくりに励んでいきます。



【新年度11名の仲間が入学します】

2/13(月)新入児童の保護者を対象とした入学説明会を開催しました。4月から11名の1年生が本校の門をくぐります。初めて小学校へ入学させる7名の方々は特に熱心な表情で説明に聞き入っていました。新年度も新入児童を加えた全校児童49名が安全に、安心して通うことができる学校づくりを進めて参ります。

【おめでとう】

【青森市小・中美術展】

○版画の部 入選 1年 白琉 里緒
4年 芽生
○デザインの部 4年 健太 5年 涼也

【棟方志功大賞県下小・中学生あおり版画まつり】

入選 1年 咲愛
4年 仰基

【読書100冊チャンピオン】

1年 里緒 白琉 咲愛 仁愛 鈴玖
2年 悠愛 光 凛 柚希乃
3年 零人 4年 芽生 5年 勇羽

シリーズ:特別支援教育(第4回再考・特別支援教育の目的)

これまで3回にわたって特別支援教育の現状を紹介してきましたが、今回が最終回です。障がいをもつ人への差別や中傷のニュースが流れる度に憤りを覚えます。自分と違う相手を受け入れず排他的な行動に出ることが改善されるとしたら、特別支援教育を取り巻く多くの問題が解決できるように思います。国際化を迎えようとしている今日、多様性を認め合える資質能力を身に付けた子の育成は急務の課題です。

葛町小学校は次年度、目指す子ども像の一つを「互いのことを考え行動しよう(とする子)」と位置付けました。小規模校のよさを最大限に活かして、児童一人一人の理解に努め、多様性を認め合う芽を育てることに取り組んでいきたいと考えています。

学校や地域社会の中で特別支援教育の目的を達成していくために、何が必要であるか問題提起することでシリーズを終了したいと思います。

【3月の行事予定】

1日(水)	漢字・計算チャレンジ 外国青年来校
2日(木)	委員会活動 清掃週間~8日
3日(金)	6年生を送る会
7日(火)	全校朝会
8日(水)	外国青年来校 大清掃
13日(月)	卒業式全体練習
14日(火)	児童集会 卒業式全体練習
15日(水)	卒業式全体練習
16日(木)	卒業式予行
17日(金)	卒業式全体練習
18日(土)	卒業証書授与式
20日(月)	春分の日
21日(火)	振替休業日
23日(水)	給食最終日
24日(金)	修了式 離任式